柳井市公共施設等総合管理計画 個別施設計画

産業系施設



1 対象施設の現況

(1)対象施設の劣化状況

表 1 劣化状況

No.	施設名	所管課	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	構造	延床面積 (㎡)	健全度 (点)	備 考 (複合化状況等)
1	農業担い手センター	農林水産課	S54	40	38	RC	436. 50	43	
2	忠信新生ライスセン ター	農林水産課	S57	37	31	S	177. 35	75	
3	忠信新生育苗センター	農林水産課	S58	36	31	S	136. 93	72	
4	忠信新生農機具格納 庫	農林水産課	S58	36	15	W	33. 00	75	
5	やまびこふれあいセ ンター	農林水産課	H10	21	15	W	194. 71	75	
6	農村婦人の家	農林水産課	S60	34	34	S	230. 74	49	
7	農産物加工場	農林水産課	Н2	29	31	S	113. 20	75	
8	増養殖用施設	農林水産課	S60	34	15	W	195. 83	75	
9	シルバー人材センタ 一作業所	商工観光課	НЗ	28	24	SL	89. 41	75	
10	金魚ちょうちん作成 工房	商工観光課	S59	35	15	W	183. 27	65	
	産業系施設計						1, 790. 94		

注)建物の構造について略称で表記しています。 W:木造 S:鉄骨造 SL:軽量鉄骨造 RC:鉄筋コンクリート造 SRC:鉄骨鉄筋コンクリート造 CB:コンクリートブロック造

(2) 対象施設の利用状況

表 2 利用状況

No.	施設名	所管課	施設の利力 平成26年度	用状況(人) 平成30年度	増減率(%)	備考
1	農業担い手センター	農林水産課	2, 192		16. 9	利用者数
2	忠信新生ライスセン ター	農林水産課	50	50	0.0	利用者数
3	忠信新生育苗センタ	農林水産課	50	50	0.0	利用者数
4	忠信新生農機具格納 庫	農林水産課	50	50	0.0	利用者数
5	やまびこふれあいセ ンター	農林水産課	2, 507	1, 790	△ 28.6	利用者数
6	農村婦人の家	農林水産課	899	531	△ 40.9	利用者数
7	農産物加工場	農林水産課	2, 653	2, 844	7. 2	利用者数
8	増養殖用施設	農林水産課	0	0	0.0	利用者数
9	シルバー人材センタ ー作業所	商工観光課	0	0	0.0	利用者数
10	金魚ちょうちん作成 工房	商工観光課	0	0	0.0	利用者数
	産業系施設					

2 対象施設の評価

表3 評価一覧

No.	施設名	所管課	ハード 評 価	ソフト 評 価	施 設 評 価
1	農業担い手センター	農林水産課	В	A	3
2	忠信新生ライスセン ター	農林水産課	A	A	1)
3	忠信新生育苗センター	農林水産課	A	A	1)
4	忠信新生農機具格納 庫	農林水産課	A	A	1)
5	やまびこふれあいセ ンター	農林水産課	A	В	2
6	農村婦人の家	農林水産課	В	В	4
7	農産物加工場	農林水産課	A	A	1)
8	増養殖用施設	農林水産課	A	A	1)
9	シルバー人材センタ ー作業所	商工観光課	A	A	1)
10	金魚ちょうちん作成 工房	商工観光課	A	A	1)
	産業系施設				

3 現状と課題

産業系施設10施設のうち、既に耐用年数を超えている施設は8施設あり、本計画期間内 に継続して使用した場合には、全ての施設が耐用年数を超える施設となります。

利用状況調査においては、大幅に利用者数が減少した2施設を除き、そのほかの施設は 堅調に推移しています。

産業系施設については、施設数も多く、施設の老朽化に伴い維持管理経費の増大が懸念 されます。

4 取組方針と対策費用

表 4 取組方針と対策費用

No.	施設名	所管課	取組 方針	対策費用 (千円)	内	容
1	農業担い手センター	農林水産課	継続	1,838	適切な維持管理を実施	
2	忠信新生ライスセン ター	農林水産課	継続		適切な維持管理を実施	
3	忠信新生育苗センター	農林水産課	継続		適切な維持管理を実施	
4	忠信新生農機具格納 庫	農林水産課	継続		適切な維持管理を実施	
5	やまびこふれあいセ ンター	農林水産課	継続	28	適切な維持管理を実施	
6	農村婦人の家	農林水産課	継続	1, 420	適切な維持管理を実施	
7	農産物加工場	農林水産課	継続	374	適切な維持管理を実施	
8	増養殖用施設	農林水産課	継続		適切な維持管理を実施	
9	シルバー人材センタ ー作業所	商工観光課	継続		適切な維持管理を実施	
10	金魚ちょうちん作成 工房	商工観光課	継続		適切な維持管理を実施	
	産業系施設計			3, 660		